

定例記者会見（8月）次第

令和4年8月2日（火）
午前11時～
第三委員会室
市長公室広報広聴係

<出席者>

酒田市／市長

総務部長、企画部長、教育次長、市長公室長、企画調整課長
都市デザイン課長、社会教育文化課長

酒田記者クラブ／各社

幹事社／朝日新聞、TUY（7月・8月）

1 開 会

(1) 発表事項

・第28回酒田市土門拳文化賞受賞者決定のお知らせ（社会教育文化課）

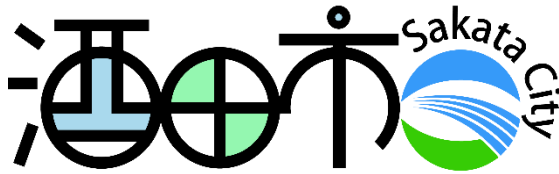
(2) 代表質問・フリー質問 [幹事社]

(3) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

・紙おむつ定額サービスの実証実験を開始します（子育て支援課）



令和4年8月2日

酒田記者クラブ加盟社 各位

第28回酒田市土門拳文化賞受賞者決定のお知らせ

「酒田市土門拳文化賞」は、本市出身の世界的な写真家・土門拳の芸術文化への功績を記念し、写真文化、写真芸術の振興を目的に平成6年6月に創設された賞です。28回目を迎えた今回は、全国35都道府県の106人から116テーマの作品が寄せられました。

去る6月3日（金）、本市において選考委員会を開催し、次のとおり受賞者が決定したので、お知らせいたします。

なお、授賞式は9月4日（日）午前10時から土門拳記念館において開催いたします。

【酒田市土門拳文化賞】（1点）

「^た立ち^と止まる^{じょうけい}情景」（モノクロ 30枚組）

^{おおかく}大角 ^{まさる}勝 氏（70歳） 静岡県静岡市

【酒田市土門拳文化賞奨励賞】（3点、受付順）

(1) 「^{はは}母 ^{そつじゆ}卒寿」（カラー 30枚組）

^{わかばやし}若林 ^{しげる}茂 氏（65歳） 静岡県三島市

(2) 「^{いっしゆん}一瞬」（モノクロ 30枚組）

^{いのうえ}井上 ^{ひろし}宏 氏（70歳） 群馬県安中市

(3) 「^{しんせかい}なにわ新世界ストーリー・^かコロナ^{じだい}禍の時代」（モノクロ 30枚組）

^{みやざき}宮崎 ^{ゆたか}豊 氏（72歳） 大阪府大阪市

お問い合わせ

酒田市社会教育文化課 村井

TEL24-2982 FAX26-5452

Eメール art@city.sakata.lg.jp

1 選考委員

江成 常夫 氏 写真家 九州産業大学名誉教授
大西 みつぐ 氏 写真家
藤森 武 氏 写真家 (公財) さかた文化財団学芸担当理事

2 選考結果

○酒田市土門拳文化賞（1点）

「立ち止まる情景」(モノクロ 30枚組)

大角 勝 氏 (70歳) 静岡県静岡市

○酒田市土門拳文化賞奨励賞（3点、受付順）

(1) 「母 卒寿」(カラー 30枚組)

若林 茂 氏 (65歳) 静岡県三島市

(2) 「一瞬」(モノクロ 30枚組)

井上 宏 氏 (70歳) 群馬県安中市

(3) 「なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代」(モノクロ 30枚組)

宮崎 豊 氏 (72歳) 大阪府大阪市

3 今後のスケジュール

(1) 授賞式 令和4年9月4日(日) 午前10時～ 会場：土門拳記念館

(2) 受賞作品展 令和4年9月3日(土)～10月16日(日) 会場：土門拳記念館

4 選考委員講評

<総 評>

古来、戦争が物質文明を進化させた、という説があります。核兵器がそれを如実に語っています。その愚行の罪を人間が犯したからには、人間が持つ英知、換言すれば精神文化によって正すしかありません。

土門拳文化賞は表題のように、写真表現をもって豊かな心を培う事業にほかなりません。そしてその理念は土門拳が提唱した「写真リアリズム」、つまり写真が普遍的価値とする記録性を基にした、新たな地平の開拓です。

今年、第28回の応募は昨年続くコロナ禍の中、ほぼ例年並みの全国35都道府県から、106人、116テーマが寄せられました。応募作は総じて、テーマ性や表現力が年々高まり、この賞が全国にしっかり根付いたことを示しています。

作品内容は地方に残る祭りや伝統芸能、山村で一人暮らす高齢者の日常など。そのうちでもロシア軍のウクライナへの侵攻に関わる核戦争への不安、絶えることのない社会的悪事や、紛争がもたらすカオスの時代を、隠喩的に視覚化した重厚作が目を引きました。

目に見える物質文明と相反し、目に見えない精神文化としての心の風景を育むには、継続の力が不可欠です。

江 成 常 夫

<講評>

「立ち止まる情景」 大角 勝さん作品

土門拳文化賞の選考委員は、師・土門拳のリアリズム写真と、被写体を凝視して写す記録性を念頭に入れて審査している。3年に及ぶコロナ禍で遠出撮影もままならず、県内を舞台に写し歩き「街に生きる」情景にレンズを向け、冷静な空気を吸うことが出来ている。作者は確固たる写真美学が確立されている。一枚、一枚の写真に少しのブレもない。

リアリズム写真を気負いもなく、自然体でサラッと写している。コロナ禍を逆手に取った見事な写真群である。

2枚組×15組の写真構成は写真の表現方法として新鮮味を増している。「立ち止まることなく」執念でもぎ取った文化賞である。

藤 森 武

<土門拳文化賞奨励賞受賞作品について>

◇「母 卒寿」 若林 茂さん作品

応募作品の中にはあまり工夫もないまま、むしろ持て余し気味にダラダラと30枚になっているものは実のところ昔も今もある程度並べられる。その中で若林さんの作品は30枚の「組写真」を真っ向から丁寧に組み組んだ跡がしっかり見て取れる。農作業を中心に四季を追い、ラストからまた一枚目へのループが素晴らしい。逞しい労働の節々に母への感謝と父を偲ぶ心が綺麗に寄り添い、私たち人間に本来備わっているはずの愛しさの情を丁寧に映像として描いている。写真の至福とはこんな清々しさを指しているのだろう。

◇「一瞬」 井上 宏さん作品

動物園で動物たちの一瞬を撮った写真に未来への希望を見いだせるか。難しそうなミッションだが、これらの作品に点在する「表象」を一つずつ解き明かしていくと、動物たちは世界環境の激変に率先し反応していることが読み取れる。そこに人間社会の現在の相剋や葛藤や不安や愛情が見え隠れしていそう。井上さんがもしそのことに予め気づいていたとすれば、長年の動物園通いは一つの修行として、ここに来て大きな徳を積むことになった。

◇「なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代」 宮崎 豊さん作品

言葉としての「人情」はいかようにも簡単に口から出せそうだが、映像として捉える場合は紋切り型なもので終わらせられない。とことんこだわりたくなる。大阪新世界も多くの写真家がこれまで関わってきた。ベテラン写真家である宮崎さんはそうした写真史も当然知った上で、改めてこのコロナ禍の時代にここに共にいる人間としてカメラを向けざるを得なかった。地元のみなさんののっぴきな人生哀歌、濃厚にして爽快な人間模様、そんな掛け替えのない浪花の人情、そして明日への希望が見事に写っている。

大 西 みつぐ

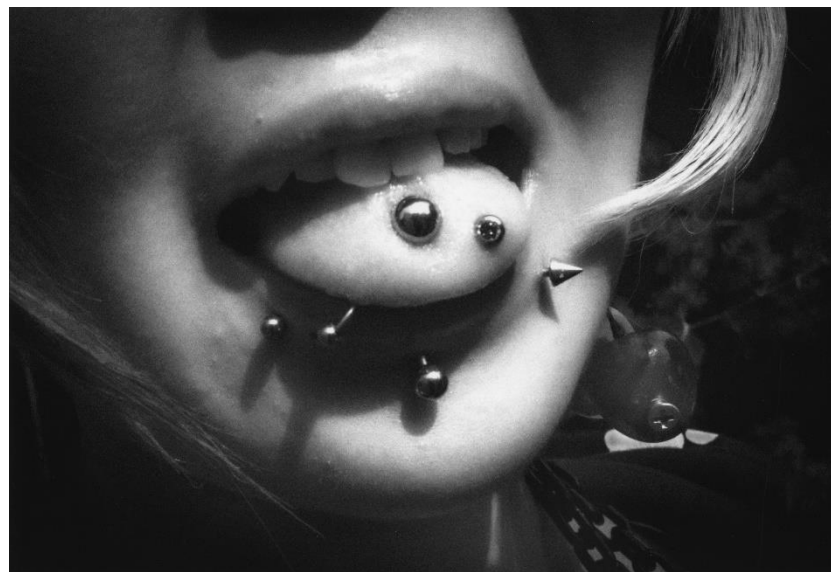
5 過去の応募状況

年度	回	応募者数 (男・女・不明)	テーマ数 (モノクロ・カラー・混合)	作品枚数	都道府県
R 4	28	106 (87・16・3)	116 (52・62・2)	3,052	35
R 3	27	124 (96・28・0)	128 (51・72・5)	3,391	35
R 2	26	138 (106・29・3)	145 (54・90・1)	3,861	37
R 元	25	137 (104・33)	143 (61・77・5)	3,885	35
H29	24	131 (100・31)	146 (80・60・6)	3,923	36
H28	23	131 (111・20)	143 (56・75・12)	3,879	36
H27	22	135 (110・25)	143 (52・83・8)	3,892	35
H26	21	117 (98・19)	130 (64・62・4)	3,446	33
H25	20	128 (105・23)	140 (50・78・12)	3,632	41
H24	19	147 (121・26)	155 (63・79・13)	3,981	36
H23	18	156 (141・15)	161 (53・102・6)	4,179	41
H22	17	144 (127・17)	151 (68・79・4)	3,867	37
H21	16	136 (107・29)	154 (53・93・8)	2,979	35
H20	15	127 (112・15)	134 (43・89・2)	2,902	36
H19	14	147 (121・26)	155 (56・94・5)	3,442	40
H18	13	101 (81・20)	116 (57・53・6)	2,861	30
H17	12	111 (87・24)	117 (66・48・3)	2,999	32
H16	11	124 (95・29)	124 (51・69・4)	2,848	36
H15	10	110 (92・18)	120 (56・61・3)	2,849	29
H14	9	103 (84・19)	109 (49・54・6)	2,808	30
H13	8	136 (114・22)	142 (68・68・6)	3,311	35
H12	7	115 (97・18)	124 (75・47・2)	3,006	38
H11	6	119 (96・23)	127 (67・58・2)	2,739	34
H10	5	139 (108・31)	150 (74・71・5)	3,134	36
H 9	4	138 (110・28)	151 (82・67・2)	3,144	37
H 8	3	151 (124・27)	170 (80・86・4)	2,835	34
H 7	2	104 (93・11)	114 (50・59・5)	1,938	34
H 6	1	108 (103・5)	130 (62・66・2)	2,453	37

第 28 回酒田市土門拳文化賞該当作品

タイトル：「立ち止まる情景」（モノクロ 30 枚組）

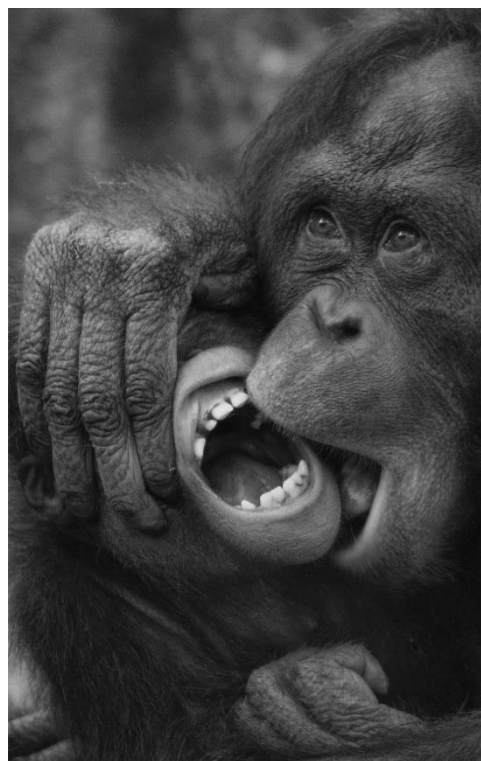
氏 名：大角 勝（70 歳 静岡県静岡市）



第 28 回酒田市土門拳文化賞奨励賞該当作品



タイトル：「母 卒寿」(カラー30枚組)
氏 名：若林 茂 (65歳 静岡県三島市)

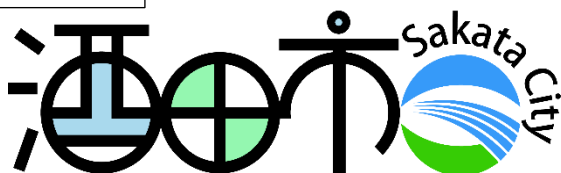


タイトル：「一瞬」
(モノクロ 30枚組)
氏 名：井上 宏
(70歳 群馬県安中市)



タイトル：「なにわ新世界ストーリー・
コロナ禍の時代」(モノクロ 30枚組)
氏 名：宮崎 豊
(72歳 大阪府大阪市)

(※奨励賞該当作品の掲載順は受付順)



令和4年8月2日

酒田記者クラブ加盟社 各位

紙おむつ定額サービスの実証実験を開始します

このたび、酒田市内の公立保育園において、紙おむつの定額サービスを導入することで、保護者及び保育士の紙おむつに関する負担が軽減されるか検証するため、実証実験を開始します。

つきましては、事業の周知等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 保育園に児童を通園させている保護者は、園内で使用する紙おむつを購入し、1枚1枚に名前を書いて持ち込みをしており、育児と仕事に忙しい保護者の負担となっています。
- また、保育園では、お預かりした紙おむつを園児ごとに管理し、補充が必要になると保護者に連絡する等、業務の負担となっています。
- 紙おむつ定額サービスは、料金を支払うことで、一定期間保護者の手を煩わせることなく、紙おむつが提供されるものです。
- この実証実験は、花王グループカスタマーマーケティング㈱の協力により実施されます。

- 対象／公立保育園に通園している児童の保護者のうち希望する方
- 期間／8月1日（月）～9月30日（金）の2か月間
- 製品／花王メリーズ さらさらエアスルー、するりんキレイおしりふき
- 費用／保護者負担なし
- その他／実証実験の期間中、アンケート調査を実施し、紙おむつ定額サービス（サブスクリプション）の導入を検討します。
- ◆公立保育園における紙おむつ定額サービスの実証実験は県内初です。

●お問い合わせ／子育て支援課 渡部

TEL 26-5735、FAX 23-2258

Eメール kosodate@city.sakata.lg.jp